

つなぐ 神戸市会議員団

市政報告 Vol.02

2022年7月17日発行 発行元:つなぐ神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市内 TEL.078-322-5849

市民と議会をつなぐ。市民と市民をつなぐ。市民と市政をつなぐ。

市民と議会をつなぐ!

そして、未来へつなぐ!

街頭市政報告会

西区 選出
神戸志民党



香川 しんじ

発達の違いが気になる子どもの進路選択の相談ができる「特別支援教育相談センター」が2022(令和4)年度からオープンしました。地域の小学校が特別支援学校か、通常の学級か支援学級か。入学後の転級や転校など、悩んでおられる保護者の方は、ぜひご相談ください。

東灘区 選出
無所属



うらがみ 忠文

大震災後、市営住宅が不足。20年期限の借上住宅制度が。「神戸市が20年たったら追い出すと思いますか?」当局は豪語した。当時の住宅局には熱い心があった。結局は追い出された。あの「熱い心」を忘れないでほしい。



街へ出て、皆さまの声を聴きしています。

垂水区 選出
無所属



高橋 ひでのり

神戸市は2022年4月から3年かけて、区役所の市民課・保険年金医療課の窓口業務の大半を、人材派遣大手のパーソナに委託しようとしています。「待ち時間が長い」「社員がすぐ辞める」などトラブルが続出。住民サービスが低下する「丸ごと民間委託」に反対です。

灘区 選出
新社会党



小林 るみ子

昨年末、突然、王子公園再整備計画案が出されました。大学誘致、サブグラウンド・テニスコート・プール・遊園地廃止計画に驚きました。しかし、パブリックコメントで、約5000件の意見が寄せられたことで、神戸市は、案の見直しをせざるを得なくなりました。まさに「市民の力」によるものです。現在、新たな案案が出され、市民への説明会&意見交換会が開催されています。王子公園・動物園の未来は、みんなで決める!...これからも積極的に市民参画を押し進めていきます。

中央区 選出
新社会党



あわはら 富夫

三宮再整備や大阪湾岸道路延伸工事などの事業はこれからです。これら事業は建設地地債の発行で事業費を賄うことになり、この返済のピークはこれから10年後になります。神戸市は、5年後の財政収支見通しを公表していますが、問題はその後です。少なくとも今後10年間の長期的な財政見通しを市民と議会に示すべきと要望しています。

市民と議員をつなぐ!

会派つなぐとは...

会派とは、活動を共にしようとする議員のグループです。同じ政党の所属議員で構成するのが一般的ですが、我々つなぐ会派は、新社会党・神戸志民党・無所属、5名の議員が結集した合同会派です。

意見の違うものは、個々の議員の考えを尊重します。

2022年
これまでの

街頭市政報告会 / 日程

予告

街頭市政報告会

- 第5回 2022.1.28(金) 三宮センター街東入口
- 第6回 2022.2.20(日) JR元町駅東口
- 第7回 2022.3.21(月・祝) 三宮ダイエー前
- 第8回 2022.4.17(日) 地下鉄 西神中央駅前

- 第9回 2022.5.29(日) JR垂水駅西口
- 第10回 2022.6.19(日) JR六甲道駅北
- 第11回 2022.7.16(土) JR住吉駅南

- 第12回 2022.8.28(日)
16:00~17:00 三宮センター街東入口
- 第13回 2022.9.24(土)
16:00~17:00 地下鉄 西神中央駅前

当日の様子は [YouTube](#) で! →



市民と市政を
つなぐ!



市政相談

皆さまの声を直接お聴きするため、相談会・勉強会を、毎週、開催しています。

市政相談 ①



精神疾患の方の地域移行について

精神病院から退院後、家族もしくはひとりで暮らしたい方が7割もいるのに、地域支援が不十分なため希望が叶いません。必要な地域福祉サービスについて、専門家にお聞きしました。

市政相談 ②

学校司書の全小学校配置について

神戸市では、全小学校に学校司書を配置する方針ですが、予算が足りずに進んでいません。そもそも学校司書とはどんな仕事でどのような効果があるのか、学校司書の方にお聞きしました。

皆さまのお声を
お待ちしております
ご遠慮なく
ご相談ください

お問い合わせやご相談は

こちらから
でも! →



- ユニバーサルツーリズム
- 学校給食
- 障害者施策
- 男女共同参画
- 老朽原発
- アスベスト問題
- こどもの居場所
- フリースクール
- 有機農業
- オーガニック給食
- 夜間中学
- 夫婦別姓
- ギャンブル依存

その他のテーマ



視察

実際に、目で見てきたことを
市政に活かしていきます。

学力の2極化が著しい数学と英語の授業を、習熟度別にクラス分けして学習成果を上げている、神戸市立桃山台中学校に行ってきました。
授業のレベルや進度を調整することで、生徒がイキイキと学んでいました。



Topic

議員定数削減案に、現状維持を主張!

議会制度改革の検討会で、議員定数削減案(9名削減)が出されました。つなぐ会派としては、現状維持を主張しました。定数削減は、市民の多様な意見・要望を反映できなくなる恐れがあり、議員報酬削減も同時に提案しています。

その他の提案

- 議会報告会を各区で開催する
- 請願・陳情での口頭陳述から採決までの時間を短くする
- 議会での呼称を「〇〇君」から「〇〇さん」もしくは「〇〇議員」に変更する
- 視察時のグリーン車の利用は廃止し、指定席とする

「出前トーク」をご存知ですか?

神戸市の職員が、直接みなさんの地域に出向いて、市政をわかりやすくお伝えします。

「くらし」「子育て」「健康」「福祉」「街づくり」など、テーマはいろいろ。

オンラインでも可能です。市政について知りたいことがあれば、ぜひお知らせください。



つなぐ会派
メンバーの

神戸市 出前トーク

今年度 所属委員会 & 取り組むテーマ

経済港湾委員会

うらがみ 忠文

分かち合いの神戸経済を

福祉環境委員会

小林 るみ子

介護・子どもの人権・ジェンダー平等

総務財政委員会

あわはら 富夫

王子公園再整備・神戸の財政

都市交通委員会

高橋 ひでのり

コロナ対策・福祉

教育子ども委員会

香川 しんじ

不登校・特別支援教育



連絡先

つなぐ神戸市会議員団

TEL.078-322-5849 FAX.078-322-6167

(受付時間/平日9:00~17:00)

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市会内

email: tunagu.kobe.shikai@gmail.com

ホームページ ▶

https://www.tsunagu-kobe.site/



Facebook ▶

https://www.facebook.com/tunagukobeshikai





マイクを持って、街に出よう!

街頭市政報告会を実施

毎月各区で実施している街頭市政報告会が **10回** を達成しました。

難しい政治の話を、少しは分かりやすく伝えられたと思います。
私は、主に障がいを持った方とその家族のお役にたつ情報を話しています。



医療ケア児
支援法
について

重度障害者等
就労支援特別事業
について

特別支援
教育センター
について

詳しくは

つなぐ神戸市会議員団の
ホームページをご覧ください

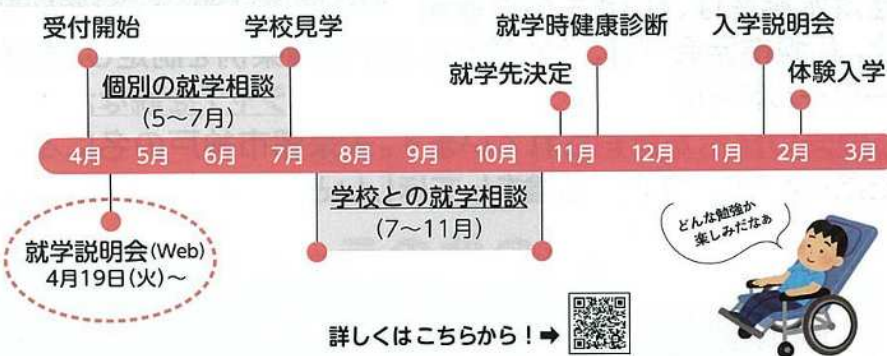
つなぐ神戸

当日の様子はこちら! →
YouTube



特別支援教育 相談センター

■ 就学先が決まるまでの流れ (目安)



詳しくはこちらから! →

令和3年6月に文科省から『障害のある子供の教育支援の手引き』が通知されました。その中には、「就学後のフォローアップと柔軟な対応」をするように明記されています。

神戸市では、令和4年4月より**特別支援教育相談センターを設置し、進路相談などを実施**しています。障がいを持つ子どもとその家族の悩みが少しは軽減されることを期待しています。

議員定数 削減 について

神戸市会では、現在69人の議員がいます。今年の1月から議員定数削減について議論をしてきました。しかし、各会派で意見がまとまらず、6月6日に各会派から議案が提出されました。

私は、9減案に賛同しました。

- 理由は...
- ① 同じ人口規模の政令指定都市である、福岡市は62人、川崎市は60人ですので、川崎市より人口が少ない神戸市も議員を減らすべき。
 - ② テクノロジーの進化により議員へのアクセスや議員の仕事も以前より容易になったこと。
 - ③ 寝ている議員が多いこと。



●各会派から提出された議案

| | | |
|---------------|----|-----------------------|
| 自民・公明 立憲民主 | 維新 | 共産 つなぐ会派 (香川以外) |
| ↓ | ↓ | ↓ |
| 4減 | 9減 | 現状維持 |

所属しているつなぐ会派では、議論を尽くしましたが、意見が分かれたので今回は別々の態度表明になりました。仲が悪くなった訳ではありません。自分の考えで判断しました。

不登校対策について

神戸市における不登校児童生徒数は毎年増加しています。これまで神戸市では、以下の対策をしてきました。

- 1 くすのき教室での通級指導
- 2 スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの配置
- 3 不登校担当コーディネーターを配置



【神戸市における不登校児童生徒数の推移】



不登校の子どもを学校に戻すことを目的にしてきた対応では、良い結果に結びつかないことが多くありました。そこで、不登校対策の支援のあり方を検討する委員会が設置されることになりました。

つなぐ神戸市議員団では、多様な学びが選択できる状況を作るために、**フリースクールなどへの公的補助**を求めています。

市政に関する皆さまのお声をお待ちしております。お気軽にご相談を！

お問い合わせ
ご相談は
こちらからでも



市政相談

6月16日 須磨シーワールド

シャチのショーについて

須磨シーワールドのシャチのショーについて、熊本と大阪の方とオンラインで意見交換をしました。全国各地の水族館が、動物福祉の観点から動物のショーを見直しています。しながわ水族館や桂浜水族館は、「いきものに無理をさせない」との考えからイルカショーを廃止。札幌市議会では、日本初となる動物園条例を制定し、展示動物の福祉を保障。2024年に開園する須磨シーワールドでは、**シャチショーのみならず、シャチを観ながら食事ができるレストランなど、動物福祉よりも利益優先の展示が計画**されています。未来都市神戸の名にふさわしく、展示動物の最大限の福祉を保障していただくように、議会で議論をしてほしいと強く求められました。



障害年金について

市政相談 その他のテーマ

- 4月6日 フリースクールの公費補助について
- 4月13日 東灘区のフリースクールを見学
- 4月20日 中央区のフリースクールを見学
- 6月1日 障害年金について
- 6月6日 夜間中学について
- 6月14日 オーガニック給食について

6月議会トピックス

✓ 原油価格、物価高騰による **市民支援** ✓ 低所得の子育て世帯に、**児童1人あたり5万円支給**

✓ 生活福祉資金を借り終えた世帯に以下を支給
 単身世帯 **6万円/月** 2人世帯 **8万円/月** 3人以上世帯 **10万円/月**

✓ 厳しい雇用環境のひとり親家庭が **就業しやすい民間企業の求人を開拓し、正規雇用での転職・就職を支援**

ご連絡先

つなぐ神戸市議員団 香川 真二

Tel.078-322-5849 Fax.078-322-6167

つなぐ 神戸市会議員団ニュース



2022年 第4号 9月15日
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会 29階
TEL078-322-5849 FAX078-322-6167
<https://tsunagu-kobe.site>
e-mail:nsp-kobe@portnet.ne.jp

..... INDEX

| | |
|---|-------|
| 第2回定例市会9月議会始まる | ... 1 |
| 2021年度決算、コロナ禍からの回復で実質収支黒字を確保 来年度以降も投資的経費増続き、公債費を押し上げ | ... 1 |
| 財政を圧迫 | ... 2 |
| 第13回街頭市政報告会のご案内 | ... 3 |
| バリアいっぱいの地下鉄三宮駅エレベーター が拡張改修され9月から運用 | ... 4 |
| 第2回定例市会日程 | ... 5 |
| 決算特別委員会局別審査日程 | ... 6 |

第2回定例市会9月議会始まる 代表質疑は、小林るみ子議員

主に2021年度神戸市会計決算を審議する第2回定例市会9月議会が、9月14日から10月25日の会期で始まりました。久元市長への各会派の本会議代表質疑は9月22日(木)に、小林るみ子議員が行います。また9月26日(月)からは、決算特別委員会の局別審査が3つの分科会に分かれて行われます。

決算特別委員会は今回は、小林るみ子議員(新社会党)とあわはら富夫議員(新社会党)が第1分科会、香川真二議員(神戸

志民党)が第2分科会、浦上忠文議員(無所属)と高橋ひでのり議員(無所属)が第3分科会を担当します。

本会議や局別審査の日程は日程表の通りです。決算特別委員会での、つなぐ議員団の質疑時間は25分と短いですが、ぜひ傍聴にお越しください。決算特別委員会での質疑の時間は日によって変わりますので、傍聴される場合は、議員団事務局にお問い合わせください。

2021年度
決算

コロナ禍からの回復などで 実質収支黒字を確保

2021年度一般会計決算は、社会保障関係経費や公債費などの義務的経費が増加した一方、コロナ禍からの景気回復による法人

市民税増や消費回復による地方消費税交付金増などで、財源対策によることなく、実質収支の黒字(約10億円)が確保されました。

(2)

歳入では、一般会計では、コロナ禍からの景気回復で、譲与税・交付金（+20.0%）や地方交付税（+20.6%）が増加した一方、令和2年度実施のコロナ対策での特別定額給付金などの国庫支出金が減少（-29.7%）し、歳入総額は9,322億円と対前年度比755億円の減（-7.7%）になりました。そのうち、市民税は個人市民税が減少した一方で、業績回復などで法人市民税が増加しました。

一方で歳出は、扶助費や人件費などの義務的経費は増加した一方（+15.1%）、投資的経費が減（-6.9%）、さらにコロナ対策事業の変動により物件費が減少し（-28.5%）、総額は9,235億円に減少、対前年度比732億円の減（-7.3%）になりました。その中で、義務的経費（人件費、扶助費、公債費の容易に削減できない経費）は5,052億円（54.7%）と、前年度4,983億円（50.0%）から増加し、過去最高額に達しています。

また借金にあたる市債については、地方交付税の振り替えである臨時財政対策債が増加した一方、市債合計は945億円（-116億円）と減少しました。しかしながら、市債残高は1兆2,293億円に増加（対前年度比+434億円）で、市民一人あたり81.4万円となっています。また、国民健康保険事業などの特別会計や、新都市整備事業などの企業会計の市債残高を合わせると、市債残高は2兆103億円（市民一人あたり133万1千円）で、前年度の市民一人あたり131万1千円から増加し、依然として高水準です。

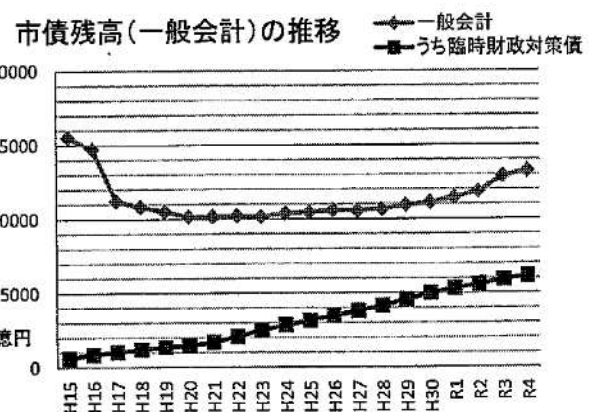
一方、実質公債費比率（地方自治体における一般財源の規模に対する公債費の割合）は2013年度の10.1%から4.4%へ減少、将来負担比率（将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標）も2013年度の94.6%から56.4%へと減少しています。

来年度以降も投資的経費増続き、公債費を押し上げ財政を圧迫

大型事業や優先順位の見直しを

これまで三宮再整備などで2018年度～2021年度で投資的経費が644億円～885億円に達しています。また、市債発行でも建設地方債2018年度313億円が2019年度に486億円、2020年度には608億円、2021年度は504億円と減少したものの、4年間でほぼ倍増しています。今後、三宮再整備にかかる1,570億円、大阪湾岸道路延伸地元負担400億円のほとんどが建設地方債で賄われることになります。

一般会計は改善されつつも、義務的経費は高止まっています。一番の要因は扶助費増



で、人件費の削減や組織の見直しでは追いつきません。今後も社会保障関係費は増え、財政当局が2026年までに436億円の収支不

足が出るとの見通しを明らかにしてはいますが、この見通しには三宮再整備による投資増や大阪湾岸道路延伸地元負担は考慮されていません。

今後、三宮再整備での投資（特に公共施設再整備1130億円や大阪湾岸道路延伸直轄負担分400億円）は、2025年迄に集中することになり、多くが建設地方債になることから、毎年の公債費を押し上げ、義務的経費比率を高めることとなります。今後さらに義務的経費が高まれば、新たな施策に充当する一般財源が枯渇することが予想され、今年度予算の事務事業の見直しでは、経常的事業の見直しや義務的経費を押し上げる人件費削減などが盛り込まれており、特に、公園管理や道路補修などでも起債の検討が明記されています。将来のことを考えると扶助費だけでなく公債費が増加し、財政圧迫の要因となります。

市債残高に占める臨時財政対策債は、すでに5割近くに達し（別表参照）、コロナ禍で国の地財特会の財源が大きく落ち込むことは明らかで、今以上に地方交付税が臨時財政対策債に置き換わることが予想されます。元利償還金は地方交付税で措置されているといながら、実質的な補填は行われておらず、これも公債費を実質的に押し上げる要因になります。

神戸市は事務事業の見直しで財源を確保するしていますが、既に大きな見直しは終わっており、再度の敬老パスの見直し、スマート自治体づくりが推し進められ、区役所窓口の民間委託など住民サービスにかかわるもの見直しが続くことが予想されます。三宮再整備の新たな見直し、大阪湾岸道路建設事業の事業年度を遅らせることなどが優先されるべきです。

つなぐ議員団第13回街頭市政報告会のご案内

- 9/24(土)16:00-17:00
- 地下鉄・西神中央駅前

新型コロナ感染者は減少してきているとはいえ、神戸市では入院、自宅療養と待機者が約2万人、病床占有率も7割近くに達しており、まだまだ先が見えない状況です。

9月14日から主に2021年度決算を審議する定例会が始まりました。国の方針が動揺する中、自治体がコロナから

市民のいのちと暮らしをどう守るかも問われている課題です。

9月の市政報告会は、まだまだ残暑厳しい中ですので、16時スタートです。9月議会開会中のホットな審議状況も報告します。ぜひご参加下さい。

(4)

バリアいっばいの地下鉄三宮駅エレベーターが拡張改修され9月から運用

今年の、つなぐ議員団の要望・質疑で大きく前進

つなぐ議員団が、かねてから障がい者団体から相談を受けていた地下鉄三宮駅のエレベーター狭小化問題で、神戸市はエレベーターの室内を広くする追加工事を行い、この9月から供用が開始されました。

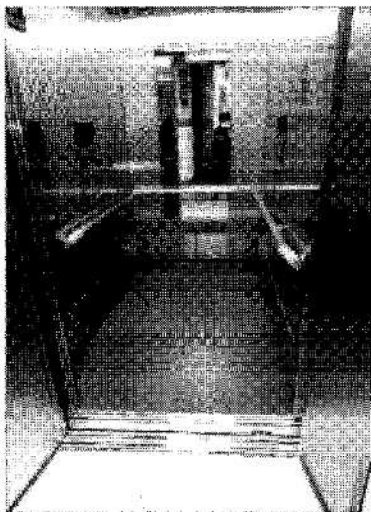
この問題は東改札口のエレベーターを、老朽化のため、昨年3月に油圧式から昇降速度の速いロープ式に更新した際、神戸市はカゴの幅を従来より30cm狭くして改修しましたが、改装後の箱が幅104cmしかなく「車いすが中で回転できない」「バックで出ざるを得ないが後ろが見えず怖い」などの苦情や相談がつなぐ議員団に寄せられていました。

バリアフリー法では最低でも140cmの幅が必要で、当事者の声を聞かずに更新工事を進めたことが根底にあります。会派では昨年、この問題についての事実経過をきちんと確かめることや、当事者抜きで動いている当局の態度を抜本的に改めさせるため現

地を見学。また障がい者団体の皆さんも神戸市に要望を出す中、昨年6月の都市交通委員会で、あわはら富夫議員が、箱が狭小化された経過や責任について追究、さらに当事者の声を聞く仕組みを担保しておくべきだったのではと、質疑しました。

これに対し当局は、「申し訳なく反省している。追加工事は利用者の声を丁寧に聞き進めたい」と答弁、さらに「今後は当事者の声を聞く仕組みを作っていく」と答弁し、エレベーター箱の拡張改修へ、また今後の当事者の声を生かした施策展開へ大きな前進がありました。その後エレベーター箱が拡張改修され、このほど工事が終了し、9月から供用が開始されました。9月2日には、議員団のメンバーが、障がい者団体のみなさんと一緒に拡張改修されたエレベーターを見学しました。

この問題に関しては、9月4日(日)の毎日新聞朝刊にも詳しく掲載されました。



(改修前のエレベーター。幅は僅か104cm)



(拡張改修後のエレベーター。車いすも中で回転できるように)

令和4年第2回定例会日程

| 月日 | 曜 | 時刻 | 区分 | 摘要 |
|-----|---|----|----|------|
| 9/7 | 水 | | | 招集告示 |

【9月議会】

| | | | | |
|------|---|-------|-----------|---------------------------------|
| 9/14 | 水 | 午前10時 | 本会議(閉会) | ・一般議案……説明→(質疑)→付託 ・決算……説明のみ |
| 15 | 木 | | } 常任委員会 | 決算質疑通告期限 |
| 16 | 金 | | | |
| 17 | 土 | | | |
| 18 | 日 | | | |
| 19 | 月 | | | |
| 20 | 火 | | | |
| 21 | 水 | 午前10時 | 本会議 | ・一般議案……議決 ・決算……質疑 |
| 22 | 木 | 午前10時 | 本会議 | ・決算……質疑→決算特別委員会設置→付託 |
| 23 | 金 | | } 決算特別委員会 | } 局別審査 総括質疑 意見表明、意見決定 |
| 24 | 土 | | | |
| 25 | 日 | | | |
| 26 | 月 | | | |
| 27 | 火 | | | |
| 28 | 水 | | | |
| 29 | 木 | | | |
| 30 | 金 | | | |
| 10/1 | 土 | | | |
| 2 | 日 | | | |
| 3 | 月 | | | |
| 4 | 火 | | | |
| 5 | 水 | | | |
| 6 | 木 | | | |
| 7 | 金 | | | |
| 8 | 土 | | | |
| 9 | 日 | | | |
| 10 | 月 | | | |
| 11 | 火 | | | |
| 12 | 水 | | | |
| 13 | 木 | | | |
| 14 | 金 | | | |
| 15 | 土 | | | |
| 16 | 日 | | | |
| 17 | 月 | 午前10時 | 本会議 | ・追加議案……説明→(質疑)→付託 |
| 18 | 火 | | } 常任委員会 | 一般質問通告期限 |
| 19 | 水 | | | |
| 20 | 木 | | | |
| 21 | 金 | | | |
| 22 | 土 | | | |
| 23 | 日 | | | |
| 24 | 月 | 午前10時 | 本会議 | ・決算、追加議案……議決 |
| 25 | 火 | 午前10時 | 本会議 | ・一般質問 |

【11月議会】(予定)

| | | | | |
|-------|---|-------|---------|-----------------|
| 11/28 | 月 | 午前10時 | 本会議 | ・議案……説明→(質疑)→付託 |
| 29 | 火 | | } 常任委員会 | 一般質問通告期限 |
| 30 | 水 | | | |
| 12/1 | 木 | | | |
| 2 | 金 | | | |
| 3 | 土 | | | |
| 4 | 日 | | | |
| 5 | 月 | 午前10時 | 本会議 | ・議案……議決 |
| 6 | 火 | 午前10時 | 本会議 | ・一般質問 |
| 7 | 水 | 午前10時 | 本会議(閉会) | ・一般質問 |

(6)

決算特別委員会審査日程(案)

| 月 日 | 曜 | 摘 要 | | | |
|-------|---|---|--|------------------|--|
| 9. 21 | 水 | 本会議 | | | |
| 22 | 木 | 本会議 本会議終了後(議場) 決算特別委員会-正副委員長の互選、理事の選出、 委員会の運営方法の協議、 分科会の審査日程の協議 | | | |
| 23 | 金 | | | | |
| 24 | 土 | | | | |
| 25 | 日 | | | | |
| 26 | 月 | 10:00 第1分科会 10:00 第2分科会 | (会計室・市長室・行財政局、 選挙管理委員会・人事委員会・監査委員) (水道局) | 第4委員会室 第2委員会室 | |
| 27 | 火 | 10:00 第1分科会 10:00 第3分科会 | (企画調整局) (文化スポーツ局) | 第4委員会室 第2委員会室 | |
| 28 | 水 | 10:00 第2分科会 10:00 第3分科会 | (健康局) (こども家庭局) | 第4委員会室 第2委員会室 | |
| 29 | 木 | 10:00 第1分科会 10:00 第2分科会 | (交通局) (福祉局) | 第2委員会室 第4委員会室 | |
| 30 | 金 | 10:00 第1分科会 10:00 第3分科会 | (都市局) (港湾局) | 第2委員会室 第4委員会室 | |
| 10. 1 | 土 | | | | |
| 2 | 日 | | | | |
| 3 | 月 | 10:00 第2分科会 10:00 第3分科会 | (危機管理室・消防局) (経済観光局) | 第2委員会室 第4委員会室 | |
| 4 | 火 | 10:00 第1分科会 10:00 第2分科会 | (建築住宅局) (環境局) | 第4委員会室 第2委員会室 | |
| 5 | 水 | 10:00 第2分科会 10:00 第3分科会 | (建設局) (教育委員会) | 第2委員会室 第4委員会室 | |
| 6 | 木 | | | | |
| 7 | 金 | | | | |
| 8 | 土 | | | | |
| 9 | 日 | | | | |
| 10 | 月 | | | | |
| 11 | 火 | 10:00 委員会 | 総括質疑 | 議場 | |
| 12 | 水 | | | | |
| 13 | 木 | 11:00 委員会 14:00 委員会 | 意見表明 意見決定 | 議場 | |

| | | |
|--------------------------|-----------------|---------------|
| 梅雨晴や 小さき靴干す 塀の上 忠文 | 神戸市会議員 ただ ふみ | 2022年 春夏の号 |
|--------------------------|-----------------|---------------|

給食のパンを持って帰る少女!

半世紀以上、前のこと——
 学年がひとつ上り、春、新学期。隣の席に
 なった笑顔が優しい細面の女の子は、2日に
 一パン給食のコッパンを残した。
 いぶかる私に、お腹が痛い、と言った。
 後に、女の子の家に近い男子の情報による
 と、彼女は小さな弟ふたりのために持ち帰っ
 ているようだ、とのことだった。
 ノートをものぞき見ると、きれいな字だった
 し、国語の音読も上手だった。お母さんが病
 弱らしく、時々休むことがあった。
 2学期のはじめ、担任の先生から、彼女が
 転校したことを知らされた。
 それからの人生で、なまけ心が出たり、少
 しせいいたくな気持ちになったとき、彼女の笑
 顔がいさめてくれた。
 彼女と逢っていなかったら、私は神戸市議
 を目指していなかったらう。
 「貧困追放」「格差解消」を、政治活動の
 テーマに掲げることもなかったらう。

うらがみ忠文

- ・1969年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
- ・元 大丸神戸店「くじゃく通信」編集長
- ・元 神戸市立御影北小学校 PTA会長
- ・NPO 障がい者就労支援作業所 副理事長
- ・1995年 神戸市会議員初当選
- ・2019年 神戸市会議員7選



JR住吉駅山側・シーア玄関前。みなと銀行住吉支店東隣り。お気軽に!

●「うらがみ忠文ネットワーク」談話室

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1-7-3 矢野ビル3F

TEL/FAX 078-841-1042 Eメール tadafumi@uragami.jp

うらがみ忠文 検索

●〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市会「つなぐ」議員団 浦上忠文発行 TEL 078-322-5849

【議会報告】私の、本会議一般質問の要旨。

■浦上忠文の質問。

私の持論「社会はお互い様！」についての質問から始める。
東日本大震災の時に、ある工場がつぶれた。小さいけれど、その部品のないことによって、世界中の自動車工場が、しばらく動かなかった。グローバルグローバルと言って、世界中がでっかい組織になっているように思うけど、本当のグローバルイズムというものは、どんなに大きなものでも、小さいものが必要や。
それが、ほんまの「お互い様」やと考えるが、どうか。

■久元市長の答弁。

「お互い様」というお考えは、もう何回も浦上議員から、お聞きしてきました、どちらかというとお互い様というのは、隣近所両隣というか、狭い地域社会のお話をされているのかと思っていました。
小さな工場でもグローバル社会の中に存在している。
そして、それが大きな影響を与えるということから見れば、お互い様という考え方は、狭い地域社会だけではなく、普遍的に世界全体にあてはまるということ、ご指摘をお聞きしまして感じました。

■浦上忠文の再質問。

世界から見れば小さいけど、ひとりひとりの人間から見れば、市役所は心のよりどころです。
大都市の神戸市役所です。グローバル社会の一員です。
難問を抱えて市役所を訪れる皆さまに、「ここは、神戸の市役所です。何事が起ころうと安心です！」と言いきれるような市役所にして頂きたい、と思うのですが、いかがでしょうか。

■久元市長の答弁。

気持ちとしては、浦上議員と同じような気持ちを持ちながら、そういうことがやっぱり言えるようにする、と言う気持ちを持って、仕事に取り組んで行きたいと思う。
職員の皆さまとも、そういう気持ちが共有出来る市役所を目指して、全力で取り組みたい。

「そや、市役所がある！」
社会の安心、希望を生み出す
神戸市役所を創ります。
浦上忠文





決算 特別委員会 総括質疑

つなぐ神戸市会議員団
香川しんじの
質疑中継動画はこちらから→




2021年度の神戸市の決算について、
市長および教育長に総括質疑をさせていただきました。

① LGBTQに関する教員研修について

いじめ被害の経験割合が高く、悩みや不安を抱えるLGBTQの児童生徒の良き理解者として教職員が十分にLGBTQの知識・理解を深める必要があります。神戸市では、適切な対応方法等を整理したサポートブックをすべての教職員に配布し、校内研修を実施しています。今後も、より質の高い研修を行っていただき相談しやすい環境を作るとともに、**相談を受けた教職員だけで抱え込むことなく組織的に取り組む体制を作っていただきたい**と要望しました。

② HPVワクチンの情報発信について

 子宮頸がんの予防に有効なHPVワクチンの接種に関しては、副反応等のリスクも十分に理解できるように、メリット・デメリットの両論併記による情報発信が重要であると考えます。特に、ワクチンの副反応が1~2年遅れてでること、記憶障害、まぶしさ、全身の痛みなどが広範囲にわたること、**他のワクチンに比べて重篤な副反応の発生頻度が高いことについては案内やホームページに記載していただきたい**と要望しました。

③ フリースクールの公的補助について

不登校の児童生徒への対応として、学校復帰を目標とした支援だけではなく、多様な学びの場の提供が求められています。学びの選択肢を広げるために、学校中心とした意識を抜本的に見直し、**フリースクールを含む多様な学びの場を重要なパートナーとして定め、連携して不登校児童生徒の社会的自立を支援していくべきです。**不登校の児童生徒の約8割は自宅に引きこもりがちになっています。その中には、**経済的理由からフリースクールに通えない児童生徒がいます。そこで、フリースクールへ通学している家庭への経済的支援をしていただきたい**と要望しました。



局別質疑



都市局 9月30日(金)

今後三宮で整備される施設の需要について

新長田南地区の再開発事業では、当初計画で見込んだとおりに保留床の売却が進まなかったことから令和5年度末時点で一般会計から326億円の繰入(赤字の補填)が必要になると試算されています。現在、三宮の中心部において再整備が進められています。阪急ビル、雲井通5丁目再開発、2号館再整備事業、JR三ノ宮新駅ビルと大規模な整備が続いています。そのどれもが、ホテルやオフィス、商業施設が入る計画になっていますが、**新長田の再開発と同様に供給過多にならないか、需要予測をしっかりと行っていただきたい**と要望しました。



建築住宅局 10月4日(火)

市営住宅のハトの糞の被害について

居住者よりハトの糞の被害がひどいという相談を受けていましたので**ハトの糞対策をしっかりと行っていただきたい**と要望しました。



管理人制度について

市営住宅には管理人に委嘱された居住者が各棟にいます。神戸市は、管理人手当として、年間約4万円から10万円の手当てを支払っていますが、業務を十分に行っていない管理人もいます。神戸市では、業務の履行確認をしていません。今後、**管理人業務の履行確認を行うか、既に必要のない制度なのであれば、廃止を検討してはどうか**と発言しました。

交通局 9月29日(木)

地下鉄海岸線の活性化のための取り組みについて

地下鉄海岸線の乗車人数増加のために、**ノエビアスタジアムでのイベント事業を増やすべきである**と考えます。ノエビアスタジアムの屋根は開閉式であり、雨天でもイベントができることから、コンサートのイベントには適しております。交通局からは、前向きに取り組むを行っていただける答弁をいただきました。



つなぐ
神戸市議員団の

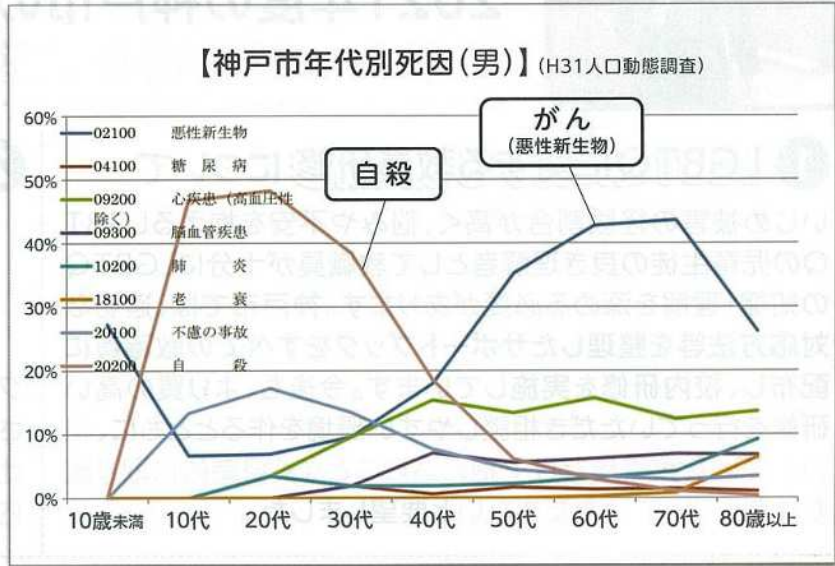
マイクを持って、街に出よう!

街頭市政報告会を実施

第13回 街頭市政報告会 9月24日(土) 西神中央駅プレンティ広場にて

私からは、神戸市の社会保障費が年々増額していることを報告し、市民の皆様ががん検診を受診していただきたいとお願いしました。

神戸市では、1年間に2,874億円(2021年度)の社会保障費を支出しています。2027年度には、3,273億円まで増加すると予測されています。これを少しでも食い止めるには、市民の皆様健康寿命を引き上げてもらうことです。**50代からの死因トップはがん**です。がんは検診による早期発見により治る病気になってきました。しかし神戸市は、**がん検診受診率が20政令都市で17位**です。**「受診費用が高い」「時間がない」などの課題**に関しては、神戸市にも努力してもらおうように引き続き要望していきます。



当日の様子はこちら! →
YouTube



詳しくは

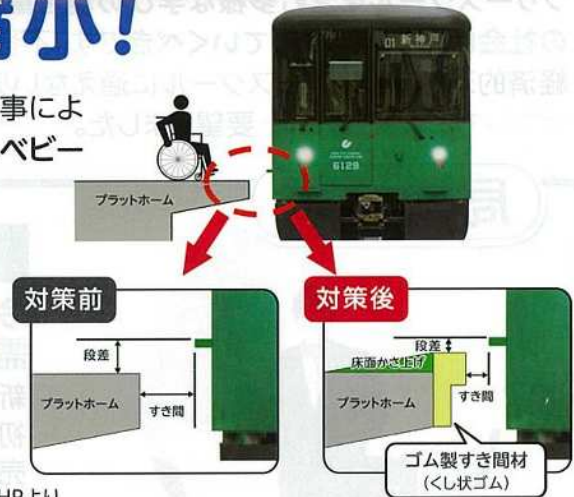
つなぐ神戸市議員団のホームページをご覧ください

つなぐ神戸

市営地下鉄の

ホームと車両の段差を縮小!

市営地下鉄ホームと車両の段差・すき間を縮小する工事が進んでいます。この工事により、車いすを使用している方がひとりで地下鉄車両に乗れるようになります。また、ベビーカーを使用している方もスムーズに車両に乗り込めます。現在は、新長田駅と板宿駅が完了していますが、**2023年度までに西神中央から谷上の全17駅で完了する予定**です。



※神戸市交通局HPより

地下鉄 三宮駅
エレベーターの

拡張改修をしていただきました

地下鉄三宮駅の東改札口のエレベーターが更新工事に伴い、室内幅が30cm狭くなって、「**車いすが回転できない**」との相談が障がい者団体から寄せられました。バリアフリー法では最低でも140cmの幅が必要であり、更新工事後の104cmは基準を満たしていないことを指摘し、**エレベーターの拡張改修**をしていただきました。

詳しくは
こちら! →

YouTube



LGBTQの電話相談が始まりました

「自分の性別に違和感がある」、「同性を好きになった」、「友達から「トランスジェンダー」と打ち明けられたがどのように接したらいいかわからない」などの当事者やその家族・友人からのお悩みについて、専門の相談員(NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会)が話を聴いてくれます。

令和4年9月より

毎月第4木曜日(17時から20時まで)

TEL. 078-322-5043

LGBTQとは… Lesbian(レズビアン)、Gay(ゲイ)、Bisexual(バイセクシャル)、Transgender(トランスジェンダー)、Questioning(クエスチョニング)の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者(セクシャルマイノリティ)を表す言葉です。

ご連絡先

つなぐ神戸市議員団 香川 真二

Tel.078-322-5849 Fax.078-322-6167



つなぐ 神戸市会議員団ニュース

2022年 第5号 11月7日

神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会 29階

TEL078-322-5849 FAX078-322-6167

<https://tsunagu-kobe.site>

e-mail:nsp-kobe@portnet.ne.jp

INDEX

| | |
|-----------------------|------|
| 第2回定例市会9月議会終わる | … 1 |
| 小林るみ子議員・代表質疑要旨 | … 1 |
| 決算特別委員会各局審査質疑項目 | … 5 |
| 香川真二議員・決算特別委員会総括質疑要旨 | … 7 |
| 浦上忠文議員・一般質問要旨 | … 9 |
| つなぐ議員団第15回街頭市政報告会のご案内 | … 10 |

第2回定例市会9月議会終わる

王子公園再整備、不登校支援などで議論

9月14日から10月25日まで開かれていた、主に2021年度神戸市会計決算を審議する第2回定例市会9月議会が終わりました。決算に対する本会議代表質疑は、9月22日に小林るみ子議員が、①LGBTQ支援 ②子宮頸がん対策 ③スマート区役所 ④王子公園再整備について質疑しました。

また、決算特別委員会では連日各局審

査が行われました。各局審査における各議員の質疑項目は別途掲載しています。そして10月11日には、香川真二議員が、①LGBTQに関する教員研修 ②HPVワクチンの情報発信 ③不登校支援について総括質疑を行いました。また、最終日の10月25日には浦上忠文議員が、「神戸の元気な将来像」について一般質問を行いました。それぞれ質問要旨を別途掲載しています。

小林るみ子議員代表質疑要旨

1. LGBTQ支援について

つなぐ議員団は過日、LGBTQ当事者の話を聞く機会を持ったが、その折、私たちのLGBTQの理解の不十分さから、その方を傷つけるようなことになった。そして今、会派は、LGBTQについての学び直しに力を入れている。4年前の本会議で、LGBTQの方々への寄り添った支援を求めたところ、市長から「社会的な差別や偏見の解消を課題として挙げた上で、性の多様性に関する正しい知識の普及のため、効果的な教育・啓発を実施していく」との答弁があった。そこ

で質疑するが、神戸市でのこれまでの取り組み状況についてお聞きする。

(小原副市長)

LGBTQに関する施策方針は、神戸2025ビジョンで、世界に開かれた多様性のあるまちとして、LGBTQなどに対する市民意識の向上を図るとともに、誰もが包摂され、個性と多様性を尊重し、持てる力を発揮でき、支え合うことのできるまちづくりを目指すことを掲げている。また、市民福祉総合計画2025でも性の多様性についての正しい知識と差別や偏見をなくすため

(2)



の教育・啓発を実施していくこととする。市職員向けの研修も実施し、教育現場でも組織的な対応を行っている。またこの9月より、毎月第4木曜日にLGBTQ専門の電話相談を設置し、当事者支援団体の協力を得て、悩みや相談に対応している。今後、電話相談での相談事例も参考にしながら、関係機関や専門家、当事者支援団体との連携を含め、必要な施策について検討していく。

(小林議員・再質疑)

先日のLGBTQ議員研修会でも役所の中でのいろんな手続、書類の見直しが始められているという項目があり、実は明石市のほうで既に2年前に性別の記載欄のある様式を全て洗い出す取組がされており、廃止可能が225か所、不可が148というように聞いている。神戸市でもまずそういう見直しを始めることができるのではないかと。さらに、この電話相談は第一歩と考えるので、充実、周知は徹底してほしい。さらにできればリアル面談で話を聞くような場を作っていく必要がある、そういう部署を神戸市としても作る必要があると思うがどうか。

(小原副市長)

神戸市でも、性別記載の必要性に関する調査を庁内で実施したところで、老人医療費受給者証等で性別の記載を廃止したところだ。戸籍や住民票は市独自の判断で変更ができないが、条例に基づく印鑑証明書は平成24年に性別欄を削除し、今年度から市職員採用試験の申込書も性別欄を廃止した。今後も性別について、性が多様性であることを念頭に置きながら適切に対応していく。また相談は、現在のところLGBTQも含め、人権推進課のほうを窓口としており、特に今、大きな不都合は生じていない。

2. 子宮頸がん対策について

子宮頸がんの原因とされるウイルスは、80%の女性が一生に一度は感染すると言われる。感染しても2年以内に9割が自然排出され、がんに至る割合は感染者のわずか0.15%と言われている。また、日本人女性に多いがんは、乳がん、大腸がん等で、罹患率、死亡率共に、子宮頸がんは上位に入っていない。子宮頸がんを防ぐため、検診を定期的に受けることで、早期発見、早期治療が可能だ。日本では、検診と衛生状況の改善により1979年以降、子宮頸がんによる死者を減らしてきている。そこで質疑するが、子宮頸がん予防対策について神戸市はどのように考えているのか。

(小原副市長)

子宮頸がん発症予防にはワクチン接種に加え、検診の定期的受診が有効であり、検診の必要性について積極的に啓発し、受診率を向上させていく必要がある。神戸市では、検診を2年に1回受診していただくよう、20歳以上の偶数年齢の女性を対象に実施している。さらに、20歳の女性の方には、子宮頸がん検診の必要性等を記載した冊子と無料の受診券を、さらに40歳を迎える女性の方には検診を含む各種がん検診の無料受診券をそれぞれ個別に送付している。また、平成26年度から、20歳の子宮頸がん検診の未受診者に対して、無料受診券の有効期限内に受診いただけるよう、個別にはがき送付による再勧奨も行っており、予防接種の実施と検診受診の啓発、この両輪で取り組んでいる。

(小林議員・再質疑)

検診で死亡率や罹患率を少なくすることができるという効果が検証、実証されており、検診をかなり強く勧奨するべきと思うがどうか。また、ワクチンで副反応が出て、国と製薬会社を相手に裁判を起こしている方が4つの地裁で130人いる。先日、会派学習会の中で、その弁護士、支援者、医者と話をする機会を持った。その方々は、まずは、相談窓口を設置してほしいことと、接種後の追跡調査をやってほしいと言われた。さらに、ワクチンは副反応も含めて、正しい情報の周知とともに、定期検診の積極的勧奨、これを併記して進めたいと言われたが、市としての考えは。

(小原副市長)

子宮頸がんの早期発見には、定期検診を受診していただくのが非常に重要だと考えており、受診勧奨と啓発という視点を持ってこの検診事業を進めていきたい。また、ワクチンの安全性は国のリーフレットで、また副反応の相談支援体制を記載した通知文等もワクチン接種の案内の中で送付している。検診のPRについては個別通知に併せて子宮頸がん検診の案内チラシ等を同封し啓発している。今後も予防接種と検診受診の啓発を子宮頸がん対策の両輪として進めていきたい。またワクチン等の副反応の相談ダイヤルを専門に設けており、必要に応じて対応を検討していく必要があると思うが、今のところ、追跡調査までは考えない。

(小林議員・意見)

追跡調査は全員やっていただくことを強く要望したい。

3. スマート区役所について

北神・兵庫区役所における民間への業務委託が進められているが、職員が削減され、派遣職員が増員されたものの、不慣れな仕事ということもあり、定着率が低い状況が続いている。その結果、待ち時間が長くなるなど、市民サービスの低下につながっている。また、戸籍関係の一部業務、保険年金課業務等々が職員に十分な説明もなく、急遽市に戻されたり、見送られたりし、これらの業務は派遣職員では十分に対応できないことも明らかになった。そこで質疑するが、こんな不安定な状況のまま業務委託の全市展開は困難ではないかと考えるがどうか。

(今西副市長)

保険年金医療課業務では、委託開始前後で退職者発生や待ち時間が長くなるなどの課題が見られたが、現在は大きな混乱なく運営できている。受託事業者では、従事者へのフォロー体制の充実に努めており現在では委託業務は混乱なく実施ができている。また委託事業者数は増えているが、退職者の数は逆に減ってきており想定範囲内だ。待ち時間は業務習熟度が増してきて時間短縮につながっている。来庁者アンケートでも高い評価をいただけるようになってきている。業務内容の見える化の過程も、内容の精緻なマニュアル化と活用で、新たに参画する事業者の参入障壁も

下がる。全市への展開は、既に委託化している区役所での知見を仕様書に反映し、円滑な委託化を進めていく。

(小林議員・再質疑)

実は10年前に民間委託に踏み切った大阪ではいろんな課題が出てきている。①職員と派遣職員が混在する中、偽装請負の法的リスクがある。これは結果としてサービスの低下になり、時間を長引かせることにもつながると思うがどうか。②職員が窓口立つことができなく、住民が何を望んでいるのかつかめず行政の政策立案機能が弱ってきている、さらに、職員が端末処理に従事しないことによる経験不足から、職員のスキル、ノウハウの継承が困難になっていると思うがどうか。③3年後に契約更新がされるが、入札が不調になったところもあると聞いている。そうすると、窓口業務に再び混乱が起き、安定的に窓口業務が機能しないという課題が、また派遣職員の方が非常に多く委託料の増額という問題も出てくるがどうか。

(今西副市長)

偽装請負にならないことが重要で、国のガイドラインにも従って、仕様書やマニュアルで役割分担を定め、受託事業者の責任者を通じて業務のやり取りをしている。加えて、業務上の調整などの必要なコミュニケーションを図るため、週次、月次で市職員と受託事業者が参加する定例会を実施している。市民から頂いた意見は、打合せの中で委託業者から聞き取り、施策に生かすことができる。役割分担をした上で、職員のモチベーションを高めながら、市民によりよいサービスが提供できるように頑張る。また、入札不調にならないよう、複数の事業者が参入をいただく環境を整備することが重要で、委託業務の標準化



(4)

を行い、現行契約で培ったノウハウをマニュアル化し事業者に提供することで、新規事業者でも公募に参加しやすくなる工夫をしていくことが大切だ。

(小林議員・再質疑)

大阪では、委託範囲の再検討、縮小の検討を始めているが、神戸市としては委託の範囲の縮小は考えてないのか。

(今西副市長)

今のところ大きな混乱なく運営できており、全市展開は可能と考える。

4. 王子公園再整備について

昨今、気候変動や地球温暖化、防災・減災、動物福祉等が叫ばれており、王子公園再整備は、都市公園・防災公園として総合的な観点で再整備に臨むべきだと考える。しかし昨年末、再整備計画素案が突然出され、「はじめに大学誘致ありき」のゾーニングだけの一方的な案だった。しかも、その後の再素案、修正素案についても方向性は変わらず、再整備に対してのビジョン・理念が全く見えず、再整備計画の進め方に疑問を感じる。提案の順番が間違っているのではないか。そこで質疑するが、この度の再整備計画については、まずは「(仮)王子公園・都市公園のあり方検討会」等を設置し、専門家や市民参画のもと、改めて再整備方針の策定をし直すべきと考えるがどうか。

(久元市長)

修正素案は、市民意見募集や意見交換会でいただいた意見も踏まえ、持続可能な神戸の発展に資する再整備になるよう、五つの基本目標を位置づけた。例えば、自然環境や景観を大切にしながら、新たな原田の森の創造を目指していくことを掲げ、地球温暖化や気候変動など、SDGsの考え方にも続くものだ。また動物福祉に十分配慮した展示方法導入を、防災減災については広域防災拠点の機能を強化し、避難場所や災害活動の拠点として各施設の充実などを掲げている。今後五つの基本目標の実現に向け再整備を着実に進め、意見募集を行い、その内容を踏まえた対応を行っていく。

(小林議員・再質疑)

初めに大学誘致ありきで、ゾーニングだけが出てきたため、市民は驚いて、怒りを買ったという経緯がある。出し方が、順番が違っていた。

先般出された修正素案を見ると、王子動物園の魅力向上を基本目標の1つとして掲げているが動物福祉の観点から、敷地はもっと広げるべきではないか。動物に対し自然に近い生育環境となってくると、当然今の広さでは無理だ。「初めに動物園ありき」ではないかと思うがどうか。

(油井副市長)

動物園のリニューアルに当たっては、老朽化した獣舎の再編、再整備をするとともに、動物福祉向上の観点が非常に重要だと考えており、快適な飼育環境の整備や健康管理の実施に努めていく必要がある。エリアの面積は現状と同程度で不足があると考えておらず、立体的な利用や面積もうまく活用していきたい。

(小林議員・再質疑)

阪神・淡路大震災の折に公園は防災拠点になり、防災の視点でこの公園を考えたいという声や意見がたくさん出ている。震災当時はまず、広域避難所になり、復旧の時期は災害救助隊の自衛隊が駐屯し、復興の時期には仮設住宅が並んだ。公園の持つ防災機能に非常に期待が高まり、震災以降、この公園緑地の整備が始まった。防災の観点でこの公園の在り方を考えることが第1弾ではないかと思うがどうか。

(油井副市長)

ご指摘のとおり、王子公園は震災のときには避難場所や物資の配送、救援の活動の拠点、また仮設住宅の建設など、復旧・復興の拠点として重要な役割を果たしてきた。再整備に当たり、公園の防災上の役割は十分認識しており、5つの基本目標の1つとして広域防災拠点の機能を記載している。再整備に当たっては、南海トラフ地震などの大規模災害を見据え、誘致する大学を含めた各施設の機能分担・連携を図りながら、現在の防災機能を維持・強化し、その機能を十分に発揮できるように検討していく。

(小林議員・意見)

震災の教訓を生かし、防災の観点で公園の

在り方を考えていただきたい。ぜひ在り方検討会を設置して、市民や専門家を交えて、計画のやり直し、再スタートをしていただくことを要望したい。一方、灘区の市民グループが王子公園の未来はみんなで決めるというこ

とを合い言葉に、市民が作成した王子公園再整備計画の対案を出す準備している。ぜひこの対案も受け入れていただき、検討会で検討していただくことを強く要望する。

決算特別委員会各局審査質疑項目

浦上忠文議員（無所属）

●こども家庭局

1. 学童保育における障害児受入加算と要配慮児受入加算の併用について
2. 少子化に対する取組について

●経済観光局

1. 六甲山の活性化について
2. 市外からの就農希望者の移住について

小林るみ子議員（新社会党）

●行財政局

1. 就職氷河期世代への支援策について
 - ①採用人数、来年度採用予定について
 - ②就職氷河期世代への支援の窓口について
2. 歴史公文書館の整備検討状況について
 - ①歴史・平和教育の拠点としての役割について
 - ②関係団体等との懇談について

●選挙管理委員会

1. 郵便投票制度の対象拡大と国への要望について
2. 介護施設などの指定施設における不在者投票について

●企画調整局

1. 王子公園の再整備における政策決定過程について
2. 男女共同参画の推進（働く女性への支援等）について
3. 市役所内における男女共同参画課の設置について

あわはら富夫議員（新社会党）

●文化スポーツ局

1. 中央区文化センターの運用について
2. 生田文化会館の暫定利用について

●港湾局

1. 須磨ヨットハーバーの管理の在り方について
2. 神戸空港の国際化について

●教育委員会

1. 不登校対策について
2. 外国籍教員について



(6)



高橋ひでのり議員（無所属）

●水道局

1. 経営の見通しについて
2. 「緊急経営改革」に伴う住民サービスの低下について
3. 水管橋の点検について

●健康局

1. コロナ対策について
2. 猫の殺処分ゼロの取組について
3. ギャンブル依存症連携会議の進捗について

●福祉局

1. 「フードサポートこうべ」の成果について
2. 生活保護受給を希望される方への説明について
3. 区役所の障害担当の窓口対応について

●危機管理室・消防局

1. 備蓄物資について
2. 自宅療養者支援セットへの危機管理室の主体的なかかわりについて
3. #7119 の運用による消防局の政策的効果について
4. 救急通報の現状と需要増対策について

●環境局

1. 地球温暖化対策について
2. 捕獲した外来生物の受入れについて

●建設局

1. 下水汚泥の活用について
2. 垂水処理場の上部利用について
3. 誰もがみやすいハザードマップに向けた工夫について

香川真二議員（神戸志民党）

●交通局

1. 市バス路線の収支改善に向けた2タッチデータの活用について
2. 地下鉄の事業存続について
3. 一般会計からの補助拡充の働きかけについて
4. 地下鉄海岸線沿線地域の活性化への取組について

●都市局

1. 新長田南地区のまちづくりについて
2. 雲井通5丁目再開発事業のリスクについて
3. 西神戸ゴルフ場を転活用した産業団地整備事業について
4. 自動運転技術の活用に向けた取組みについて
5. ポートライナーからバスへの利用転換について

●建築住宅局

1. 市営住宅の鳩の糞被害について
2. 住宅管理人の制度と役割について
3. 市営住宅の空き家活用について
4. 居住支援法人への市営住宅の提供について



香川真二議員・決算特別委員会総括質疑要旨

1. LGBTQに関する教員研修について

近年、教育現場におけるLGBTQの児童生徒への支援について社会的関心が高まる中、悩みや不安を抱える児童生徒の良き理解者として、まずは教職員自身が十分に知識・理解を深める必要がある。本市では、適切な対応方法を整理した教職員のためのサポートブックを全学校園に配布するとともに、すべての教職員を対象に校内研修を実施していると聞くが、具体的にどのような方法で実施しているのか。

(長田教育長)

教職員が正しい知識を理解し、児童・生徒に寄り添った対応をすることは、大変重要だ。指導指針の人権教育ハンドブックを作成し、人権課題の1つとして取り上げている。研修ではLGBTQに精通した専門家による監修の下、セクシャルマイノリティーサポートブックを作成をし校内研修に取り組んでおり、今年度は性の多様性に係る児童・生徒の理解と対応に関する動画教材を作成し、各校での研修に活用している。

(香川議員・再質問)

議員研修で聞いたが、クラスに1人から2人ぐらいはLGBTQの生徒がいることや、いじめ被害の経験をしている割合が高いなど、かなり悩んだり苦しい状況があると思う。現場での救いは、教職員が相談に乗ることだと思うが、より質の高い研修を行っていただきたい。文科省資料には、相談を受けた者だけで抱え込むことなく、組織的に取り組むことが重要であるとあるが、チームでサポートする体制はどうか。

(長田教育長)

学校がチームとして、組織として対応していくことが重要だ。LGBTQについても、学校でケース会議の場にスクールカウンセラーも入り、教職員と同様に共有をすることに努めており、しっかり周知徹底を図り適切な対応ができるよう取り組んでいく。



2. HPVワクチンの情報発信について

先日の代表質疑で本人や保護者がワクチン接種について検討できるよう、案内にワクチンの有効性や安全性を記載しているとの答弁があったが、リスクについては限定的に示されていると感じる。令和3年の厚労省専門家会議においても、「ワクチン接種による有効性が副反応のリスクを上回ると認められたが、引き続きワクチンの安全性の評価を行っていく」と、接種によるリスクも認められている。副反応等のリスクも十分に理解した上で判断できるよう、メリット・デメリットの両論併記による情報発信が重要であるが、本市の案内はリスクの記載が不十分で、情報が不足していると考えられるがどうか。また、副反応は遅延して発症したり、記憶障害や認知障害など全身に発症すると言われており、これも案内に入れて頂きたいがどうか。

(小原副市長)

国は情報提供用として、ワクチンの有効性や安全性を記載したリーフレットを作成しており、国からはこのリーフレットの活用が求められている。本市でも、予防ワクチンの定期接種及びキャッチアップ接種の対象者に対し、本人や保護者が御自身で接種について検討を判断いただけるよう、国のリーフレットをはじめ、円滑な接種に必要な情報を記載した通知文とともに、個別の接種券等を6月から送付した。さらに市のホームページでも国のリーフレットを掲載し、接種対象者及び保護者が御自身で検討・判断していただけるよう、情報提供に

(8)

努めていく。ワクチン副反応の遅発性、広範囲に起こることは、国でも検討会の中で議論されていると聞いており、国の見解では、接種との因果関係を疑う根拠に乏しいと評価されているところだ。

(香川議員・再質問)

茨城県牛久市ではホームページに、厚労省の情報だけでなく小児学会や産婦人科学会、HPVワクチン東京訴訟の支援ネットワークの情報とか複数載せてる。一旦立ち止まって自分で判断して、いろんな情報を取りにいけるようリンクを貼るとかどうか。

(小原副市長)

牛久市のホームページ等について確認したが、なかなかここまでの対応をしている自治体は他にもあまり例がない。私どもは、やはり国のほうが示されている標準的なリーフレット等を踏まえた情報をきちんと市民の方にお届けし、また国の方でも、予防接種後の健康状況調査についても全国的規模で行われており、こういった情報についても注意深く関心を持って見ていきたい。

(香川議員・意見)

先日、ワクチンの後遺症の方からお話を聞いたが、13歳でワクチンを受け17歳からやる気が出ないとか、手足の力が入らないとか、まぶしい症状が出てきたり、23歳までずっと家にこもっているような状況で、地獄のような日々だったと言っていた。ぜひ、経過観察で追っていただいて、情報をしっかりと神戸市で収集して、後遺症で苦しんでいる方もしっかりとフォローをしてください。

3. フリースクールへの公的支援について

教育機会確保法の制定を契機として、不登校の児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援が必要とされており、学校復帰を目標とした支援だけではなく、多様な学びの場の提供が求められている。本市では不登校児童生徒への支援に関する現状と課題を検証し、支援の改善・充実を図る観点から、「今後の不登校支援のあり方に関する検討会」を立ち上げたところだが、7月に実施された第1回検討会では、魅力ある学校づくりの重要性が指摘され、学校への登校を前提とした議論が中心に

なっている印象だ。子どもの選択肢を広げるために、学校中心とした意識を抜本的に見直し、多様な学びの場の充実を図るべきではないか。

(長田教育長)

学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、社会的自立を目指すために、フリースクールなど多様な教育機会があることを教職員が十分理解をし、適切な支援につなげていくことが重要だ。現在開催している検討委員会では、登校しやすい環境整備と不登校の早期支援、2つ目には不登校児童・生徒への支援の充実、そして3つ目には保護者サポート及び民間施設との連携推進の3つの事項を中心に順に検討を進めている。フリースクールを含む教育機会や支援方法について教職員の理解をさらに深めていくとともに、検討委員会の意見も踏まえ、総合的かつ体系的な不登校支援策を構築し不登校支援の充実に努めていく。

(香川議員・再質問)

神戸市内で今、2,700人ぐらい小・中学校の不登校児がいるが、1割が校内フリースクール、1割がフリースクールに行き、8割はどこにも行けていないと聞いている。フリースクールは月額3万3,000円ぐらいかかるが、8割の中には、経済的理由からフリースクールに通えなかったり、フリースクールは実際運営自体も大変だという話も聞いおり、それらへの公的補助は考えられないか。

(長田教育長)

現在、今後の総合的かつ体系的な不登校支援の在り方について検討しているところで、その中でフリースクールについても、国の動きを注視をしながら、望ましい支援の在り方を検討していきたい。

(香川議員・再質問)

市長に聞くが、フリースクールの必要性をどのようにお考えか。また経済的理由で通えないとか、フリースクールの運営自体も大変な中で、全国の動きを見ると、公的補助について国は全然動いておらず、各自治体で独自の財源を使って支援をしているところはかなり増えてきているがどうか。

(久元市長)

社会や人間関係が複雑になっている中で、どうしても学校に行けない子供たちが存在するという現実には真正面から受け止めていかないとはいけない。現実にはフリースクールが存在をして、そこで一定の子供たちが学んでいるわけで、フリースクールの実態や、どんな問題が生じているのかも行政として把握した上

で、対応を検討していくという姿勢も大事だ。教育長から先ほど示されたとおり、まずは教育委員会の考え方を受け止めて、市全体としての対応を考えていかないとはいけない。フリースクールが存在しているという現実にはしっかり受け止めなければいけないと考える。

浦上忠文議員・一般質問要旨

～神戸の元気な将来像について～

私の人生の最大の目標は、貧しい人が世の中から1人でも少なくなったらいいという事だ。近年、困っている人や途方に暮れている人、様々な苦悩を抱えている人が見えづらくなっていることが日本社会の問題だ。昔は、地域の中で互いに声を掛け合い、支えあう連帯感があったが、今はそれぞれが砂粒のように孤立してしまっている。

こども食堂は、10年前に東京都で初めて立ち上がって以来、これまで全国で6,000箇所以上に広がっており、こどもの貧困対策だけでなく地域の交流の場としても有効ということで注目を浴びている。コンビニの数ほどあってもよいと考えるが、神戸のこども食堂の実態について伺いたい。あわせて、こども食堂は、地域住民のつながりの場として社会の元気を生み出す場所だと考えるが市長の見解を伺いたい。

(久元市長)

本市では、子どもの居場所づくりの全市展開を進めており、全163小学校区に子供の居場所ができるよう進めている。今年9月末時点で市内225ヶ所、117校区において実施をされており、225ヶ所のうち151ヶ所で子供食堂が実施をされている。この取り組みをさらに推進していくため、9月補正予算で子供の居場所づくりが立ち上がりにくい地域における支援拡充も行った。子供食堂を含む子供の居場所を多く作っていくことは大変重要だと考えており、これまでの支援策を検証しながらさらに取り組みを強化していきたい。

(浦上議員・再質問)

この前から市長は大学を誘致することに



非常に関心をお持ちだが、誘致するならば子供食堂大学という大学を神戸で作ったらどうか。そこでは、こども食堂やこどもホスピスなどのこどものコミュニティの場を中心に、生活保護や障がい者福祉などの福祉施策全般など、接々な社会の課題について幅広く研究し、社会を支え、貧困を超えて居場所と活躍の場を与える仕組みを作り出す大学を作ったらどうか。

(久元市長)

王子公園における大学誘致は、手続きをしっかりと踏み進めていき、公募の際には、公募条件の中に地域に貢献をしていただくということを取り入れたい。市内の大学や高等教育機関などでは子供の健やかな発育や成長については様々な教育研究が行われており、格差が拡大をしていて、子供の貧困問題が現実存在しているということをも十分踏まえ、その知見をしっかりといただきながら、市内におけるこの子供の発育に対する支援、やはりこれを行政に反映させる取り組み行っていく。

(10)

(浦上議員・再質問)

私は別に王子公園に子供食堂大学を作れとは言っていない。実際に世の中で、全国的には平均収入の2分の1以下の人が7人に1人ぐらい、シングル家庭では50%ぐらいいる。そういう家庭の子供を放置して、大学で教育研究して、本当に困ってる人を助けることになるかというのは私は疑問で、市長はどう考えるか。

(久元市長)

様々な大学で教育研究が行われているだけではなくて、学生の皆さんが今現実に起きている地域課題の解決に、自分自身も役に立ちたいと学習支援などの活動をされている方が多くいることも事実で、学生の皆さんの力も借りて一緒に支援していくことが大事だと思う。

(浦上議員・再質問)

食事を提供するとか、あるいは学習支援するとか、先ほど神戸市での取り組みをおっしゃったが、これで本当に神戸で困っている子供の何%を網羅されてると思われるか。

(久元市長)

正直それはわからないが、子供の貧困問題は、非常に深刻で、様々な政策を展開をすることで考えていかなければいけない。同時に、これを支援する取り組みが市民の間に広がり、また企業からの支援にも繋がっ

ていくようなサイクルを作っていくということが重要ではないかと思う。

(浦上議員・再質問)

子供食堂など本当に大学生が一生懸命やって、教えてる人もいるが、そのことがもっともっと全国的に、全世界的に増えるなどのきっかけを作ったらどうかというのが私の考えだがこれは青年の夢みたいなものなのか。

(久元市長)

今から50年60年前に比べ、昔は見えてたものが見えにくくなっている面があり、貧困家庭の存在は見えにくくなっているという面がある。よって、どういうふうにその問題を発見するのか、試行錯誤の面もあるが、やはりアウトリーチをしていくことにより、そういう家庭の存在を発見をし、どういうふうに支援を届けるのかを関係者がしっかり集まり議論し、有効な手立てを考えていくことが重要ではないかと思う。

(浦上議員・意見)

何か頼りがいのある場所をたくさん作ってあげることが、貧しい子供たちに役に立つと思う。そしてその人たちをもっと幅広く、みんなを助けるような学問をする、私の唱える子供食堂大学が日本中で有名になり、誰でも入れるような大学、市長と私も仕事を終えたらまたその大学で学ぶというような、そんな街になったらいいなということをお願いして終わる。

つなぐ議員団第15回街頭市政報告会のご案内

● 11月13日(日) 14:00-15:00

● 地下鉄名谷駅前

2021年度神戸市会計決算を審議する定例会が終わりました。王子公園再整備、神戸空港の国際化などで連日熱い議論が交わされてきました。今回の市政報告会では、決算議会で明らかになった課題などを報告します。須磨区では初めての開催となります。ぜひ参加下さい。